



法政大学SDGs+(プラス)プロジェクト



法政大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



これまでの法政大学と持続可能な社会の構築のつながり

年	取り組み内容	SDGsとの関連
1999年	環境憲章の制定	地球環境との調和・共存と人間的豊かさの達成を目指す
	大学院棟でISO14001審査登録	総合大学初のISO14001取得
2001年	市ヶ谷キャンパス全体でISO14001審査登録（サイト拡大）	環境問題分野での指導的役割
2004年	多摩キャンパスでISO14001審査登録（サイト拡大）	環境問題分野での指導的役割
2014年	グローバルポリシーの制定	「持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学」を目指す
	文部科学省の平成26年度スーパー全球大学等事業 「スーパー全球大学創成支援」に採択	構想名「課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成」
	長期ビジョン「HOSEI2030」策定に向けた検討開始	持続可能な大学運営を展開
2016年	大学憲章「自由を生き抜く実践知」の制定	地球社会の課題解決および持続可能な社会の未来に貢献
	ダイバーシティ宣言	人権の尊重、多様性の受容、機会の保障を基盤にして、さまざまな国籍と文化的背景を持つ学生、教職員を積極的に受け入れ
2018年	SDGsへの取り組みに関する総長ステイトメント発表	大学全体としてSDGs達成に向けた取り組みをより一層加速
	全学SDGs認知度アンケート実施	SDGs認知度向上、SDGs推進の進捗管理
2019年	学部横断型科目群「SDGs科目群」の展開	学生への多様な学びの場の提供およびSDGs達成に貢献し得る人材の育成
	SDGs未来都市（下川町・陸前高田市）との連携協定締結	パートナーシップでのSDGs達成
2020年	法政大学SDGs+（プラス）プロジェクト2030アジェンダ策定	2030年に向けた具体的な行動計画と達成指標
2021年	法政大学SDGsパートナーズ設立	パートナーシップでのSDGs達成
	法政大学SDGs+プロジェクトレビュー・ミーティング実施	教員、職員、学生によるプロジェクトのマネジメント
	Voluntary University Review 「法政大学SDGs+レポート」発行	大学における自発的なSDGs進捗レビュー

法政大学×SDGs

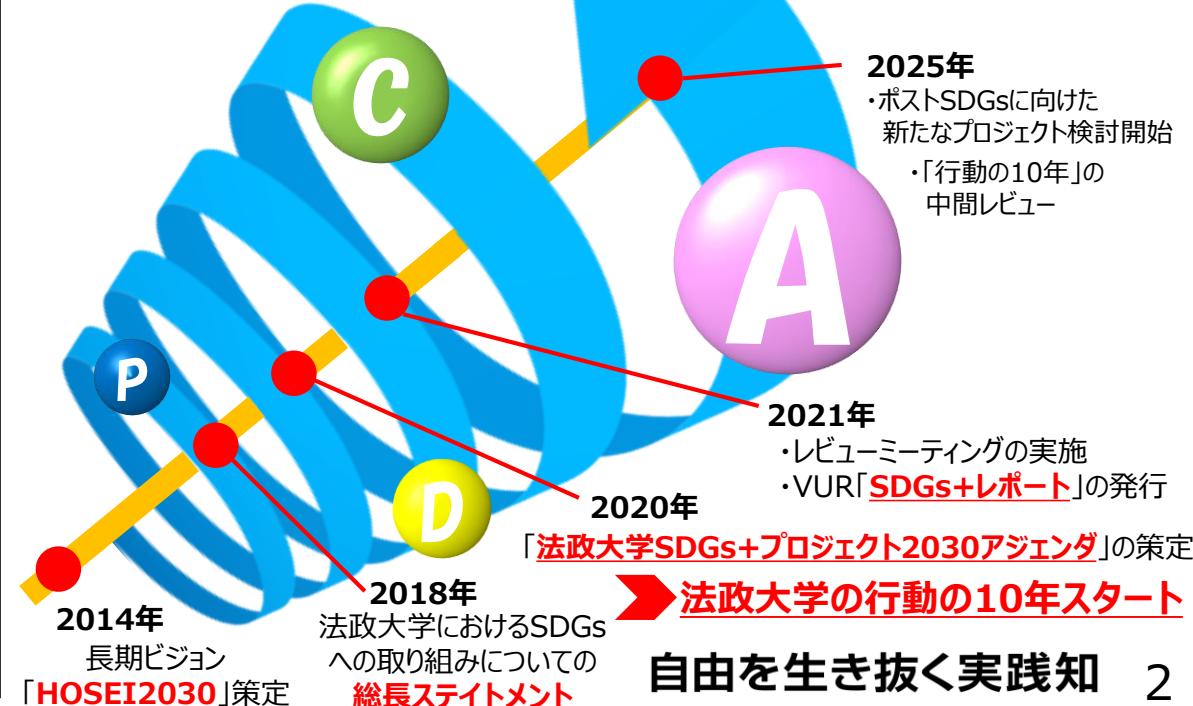
法政大学SDGs+プロジェクト全体像



法政大学SDGs+プロジェクトの2030年に向けた動き

PDCAサイクルによるスパイラルアップ

- 1.インディケーターによる明確な目標管理
- 2.毎年の全学アンケートによる定点観測



法政大学SDGs+プロジェクト2030アジェンダ

2020年9月、法政大学SDGs+プロジェクト独自の**2030アジェンダ**を策定。「教育」「研究」「社会貢献」「学生」を軸に、それぞれゴール・ターゲット・インディケーター・2030年までの目標値を設定し、**パートナーシップでの目標達成**を目指す。

毎年度進捗状況や社会情勢等を確認し、目標やターゲット、インディケーター等の適切な見直し・再設定を図る。

法政大学SDGs+プロジェクト2030アジェンダ全体像

教育×SDGs



ゴール1 SDGs人材育成のためのあらゆるプログラムを設置し、SDGs人材を世界中に輩出する。

ターゲット	インディケーター	目標値 (2030年次)
1. 1 すべての学生がSDGsについて理解する。	1. 1. 1 オンライン講座「SDGs入門」の受講者数	累計1万人以上
	1. 1. 2 SDGsサティфикート取得者数	累積2,000人以上
	1. 1. 3 SDGsに関する正課外教育プログラムの受講者数	累積5,000人以上

⋮

社会貢献×SDGs



ゴール3 社会との接続を強化し、誰一人取り残さない社会を構築する。

ターゲット	インディケーター	目標値 (2030年次)
3. 1 SDGsの「leave no one behind」(誰一人取り残さない)の理念に基づき、誰もが無償で受けられるプログラムを提供する。	3. 1. 1 SDGsに関連する講座、セミナー、シンポジウムの開講数	累積20以上
3. 2 SDGsを軸とした高校教育と大学教育の接続プログラムを実施する。	3. 2. 1 プログラム実施数	累積50以上

⋮

企業



地方自治体



パートナーシップ×SDGs



ゴール5 あらゆる課題に対して、パートナーシップで目標を達成する体制を構築する。

ターゲット	インディケーター	目標値 (2030年次)
5. 1 地方自治体や企業、大学など様々なパートナーとの協力体制を構築する。	5. 1. 1 地方自治体のパートナー数	10以上
	5. 1. 2 企業のパートナー数	10以上
	5. 1. 3 大学など教育機関のパートナー数	10以上
5. 2 様々なパートナーとコミュニケーションを図り、新しい価値を創造する。	5. 2. 1 パートナーズコミュニティー等の開催数	累積10回以上

団体



教育機関



研究×SDGs



ゴール2 SDGs達成に貢献する研究を推進し、社会に発信する。

ターゲット	インディケーター	目標値 (2030年次)
2. 1 SDGs達成に貢献する研究やSDGsに関連する研究を活発に行い、発信する。	2. 1. 1 SDGs登録プロジェクト数	累積100以上
	2. 1. 2 SDGsに関連した他機関等との共同研究数	累積50以上
	2. 1. 3 ホームページや冊子等で発信するSDGsに関する研究数	累積500以上

学生×SDGs



ゴール4 学生があらゆる場所で活躍できるフィールドを提供する。

ターゲット	インディケーター	目標値 (2030年次)
4. 1 すべての学生がSDGs達成に貢献する取り組みを実施する。	4. 1. 1 SDGs Action Students of HOSEI (SASH) 登録者数	累積500人以上
	4. 1. 2 認定プロジェクト数	累積100以上
4. 2 世界中の学生とSDGsをテーマにした交流を実施する。	4. 2. 1 海外学生との交流プログラムの参加人数	累積1,000人以上

自由を生き抜く実践知 3

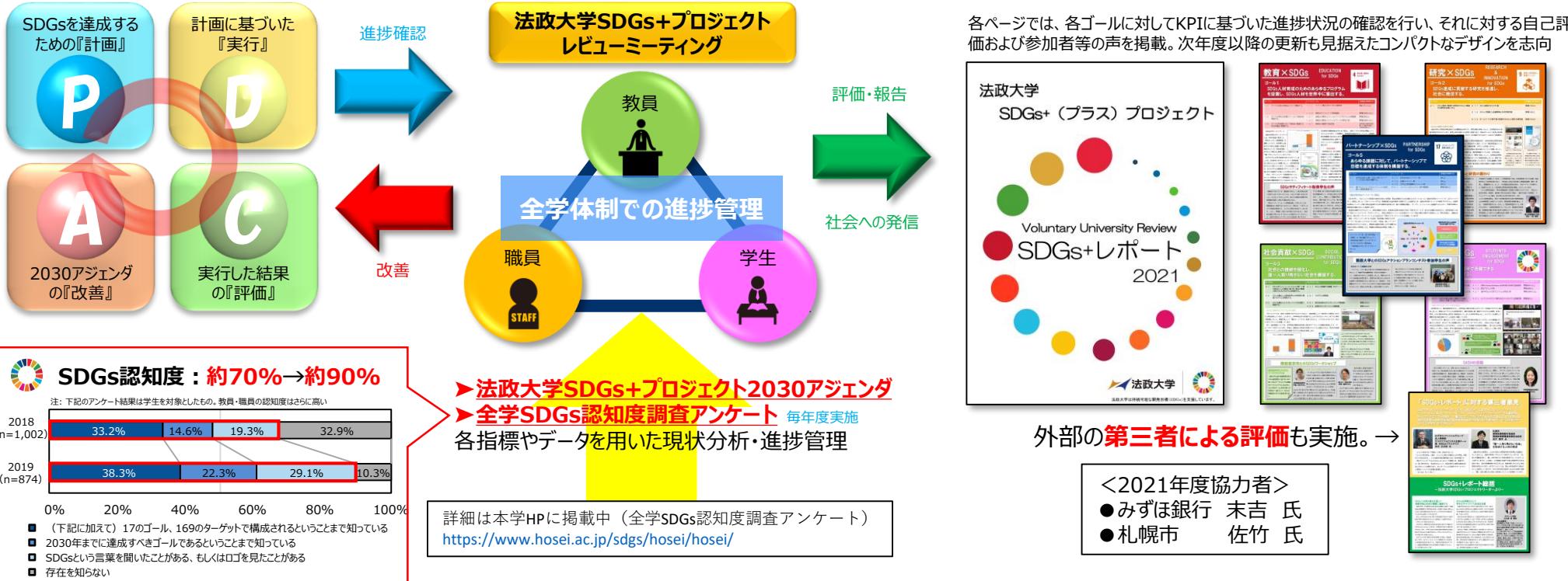
法政大学SDGs+プロジェクトPDCAサイクル

独自の2030アジェンダの1年間の進捗状況を確認・評価し、行動計画の見直し等を行うことを目的に、「**法政大学SDGs+プロジェクトレビュー・ミーティング**」を実施。本学の**全関係者**（教員「総長、担当副学長、プロジェクトリーダー、サポート教員※1」、職員「プロジェクト事務局、アンバサダー※2、学生「SASH※3」）が参画。

レビュー・ミーティングの結果を踏まえ、プロジェクトの進捗状況を報告するための「**VUR (Voluntary University Review)**」として、「**SDGs+レポート**」を発行。レポートでは、プロジェクトの取り組み内容の紹介に加え、独自に定めた2030アジェンダの進捗状況を確認。

法政大学SDGs+プロジェクトPDCAサイクルイメージ

※1 サポート教員 SDGsに関する知見を持つ専門家により構成された教員組織
※2 アンバサダー SDGsへの関心が高く、一定のスキルを持つ職員により構成された組織
※3 SASH SDGsに積極的に取り組む学部生・大学院生により構成された学生組織



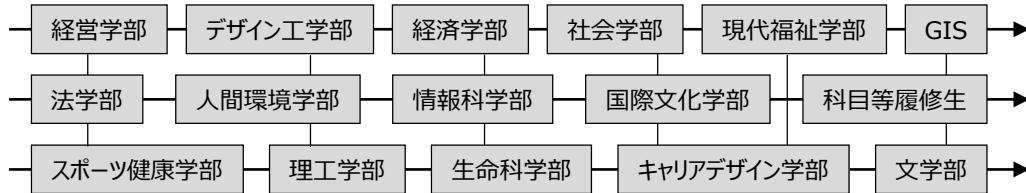
Goal 1: 教育×SDGs EDUCATION for SDGs

SDGs人材育成のためのあらゆるプログラムを設置し、SDGs人材を世界中に輩出する



法政大学SDGs+プログラム（SDGs科目群）

- ▶全学部（15学部）からSDGsに関わる多様な科目的提供（提供科目数 2021年度時点：761科目）
- ▶SDGsオンデマンドコンテンツの視聴およびSDGs科目群の所定の単位を修得した学生に修了証明書（デジタル証明書）を発行

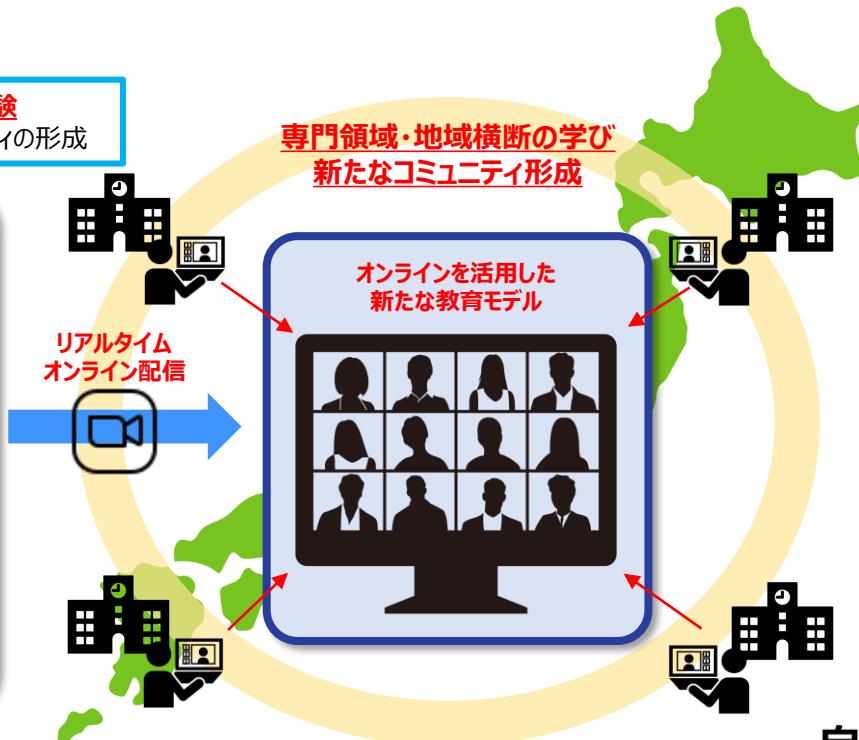
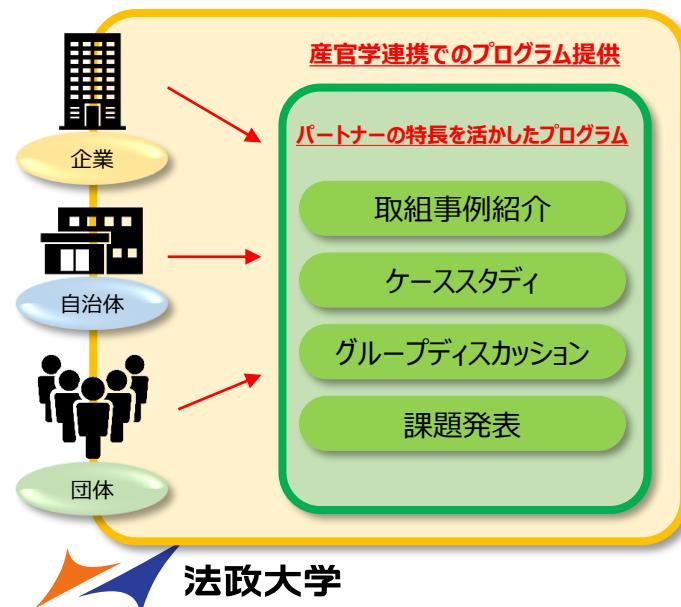


修了証明書授与式



法政大学SDGs実践知ゼミナール

- ▶企業・自治体等による講義、ディスカッションを通じた実践の体験
- ▶学部・大学を超えた多様な学生が学び合うラーニングコミュニティの形成



修了証明書取得者数一覧

年度	春学期	秋学期	合計
2019	6名	8名	14名
2020	4名	15名	19名
2021	17名		17名
総計			50名

SDGsオンデマンドコンテンツ
視聴者数は1000人以上

今後の取得者数増大

自由を生き抜く実践知 5

Goal 2: 研究×SDGs RESEARCH & INNOVATION for SDGs

SDGs達成に貢献する研究を推進し、社会に発信する

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

研究×SDGsの発信

- ▶ 本学教員による**SDGsに関わる研究内容**をWebサイトで発信
- ▶ **14学部**の教員、**44記事**掲載
- ▶ 企業や自治体等との**連携強化**を促進



- ▶ 関連ゴールのマッピング
- ▶ 関連ゴール別の検索機能

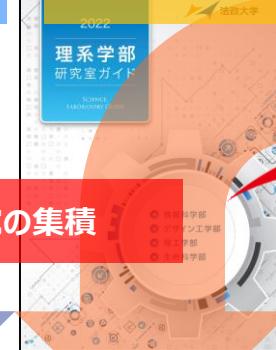
理系学部研究室ガイド

- ▶ 受験生向けの理系学部選びの**コンパス**の1つ
- ▶ **126研究室**がSDGsに関連
- ▶ 冊子および**Web**でも閲覧可

社会向け

研究の集積

受験生向け



- ▶ 共同研究の促進
- ▶ 研究リソース・情報提供

- ▶ 研究成果の活用した課題解決
- ▶ 新たな連携事業の創出

法政大学

研究×SDGs

- ▶ 「研究×SDGs」による社会貢献
- ▶ SDGsに関連する研究の拡大

- ▶ SDGsと研究のつながりの発信
- ▶ SDGsに関心が高い学生の獲得

- ▶ SDGsを活用した学部選び
- ▶ 研究と社会のつながりを把握



自由を生き抜く実践知

6

法政大学

Goal 3: 社会貢献×SDGs SOCIAL CONTRIBUTIONS for SDGs

社会との接続を強化し、誰一人取り残さない社会を構築する



SDGs学習用オンデマンドコンテンツ配信

- ▶ SDGs初学者を対象とした学習コンテンツを学外へ広く**無償で開放**
→**誰一人取り残さないSDGs教育**に貢献
- ▶ 政府関係者、自治体関係者、企業関係者、NGO/NPO、市民団体等、**パートナーシップ**の下でコンテンツを作成
- ▶ JMOOC、YouTube、LMS等、多様なプラットフォームでの公開
- ▶ JMOOCでは、**延べ1万人**以上が受講

講義内容（約300分のコンテンツ）

1. 持続可能な開発とは
2. 2030アジェンダとSDGs
3. SDGs達成に向けた取り組み方法
4. SDGs達成に向けた各主体の取り組み



JMOOC講座「SDGs入門」↑→



自治体等とのSDGs連携事業

<SDGsオンライン人材育成プログラム／SDGsプレゼンタープログラム>

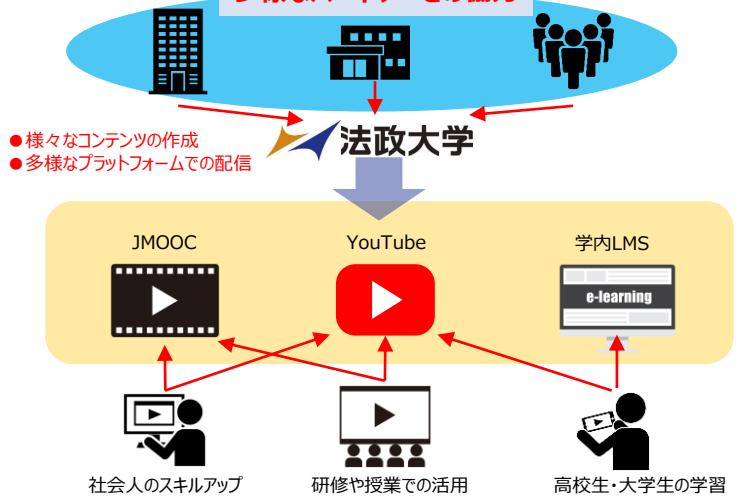
- ▶ 札幌市×北海道大学×法政大学による**三者連携**プログラム
- ▶ 大学生が次の世代（小中高生）に対して、**SDGsを伝えていく**ための「伝え手」を目指すプログラム
- ▶ 環境広場さっぽろに来場した小中高生に対して、大学生が考案した**SDGsの学びプログラム**を実施

<陸前高田市SDGsワークショップ>

- ▶ **SDGs連携協定**に基づいた、陸前高田市と法政大学の連携プログラム
- ▶ 陸前高田市の事業者が抱える課題に対して、大学生が**SDGsを軸とした課題解決策を提案**



多様なパートナーとの協力



人材育成を通じた社会貢献

陸前高田市SDGsワークショップ



自由を生き抜く実践知 7

Goal 3: 社会貢献×SDGs SOCIAL CONTRIBUTIONS for SDGs

社会との接続を強化し、誰一人取り残さない社会を構築する



SDGs WEEKsの開催

- ▶ **産官学連携**による多様なプログラム等を集中的に開催するイベント
- ▶ **他大学や海外大学**とのコラボレーション
- ▶ **高校生・大学生の他、社会人**も多数参加



※ KLASH

SDGsに積極的に取り組む両大学の学生団体（法政大学：SASH、関西大学：関西大学SDGsキャンパスセンター）により構成された学生組織。共同でプロジェクトを進めていくことでSDGsの更なる普及・達成を狙うことを目的に発足。

名前の由来は「衝突」を意味するClashから発想を得て、「両大学の学生がともに刺激を与え合いより良いものを生み出していく」という意味を込めている。Cではなく敢えて関大（K）と、法政（H）をチーム名に入れた。

KANDAI×HOSEI SDGs WEEKs

法政大学企画

企業／自治体セミナー



- ✓企業/自治体がSDGsを取組む意義
- ✓特長を活かしたSDGs実践例の紹介
- ✓横断的な思考力の涵養

SASH企画



- 〈古着ファッションショー〉
- ✓キャンパス内の古着回収
- ✓企業と連携し、古着をリメイク
- ✓リメイクした古着のファッションショー
- ✓YouTube Liveでの配信

〈連携実績〉

- ・内閣府
- ・千代田区
- ・神奈川県
- ・横浜市
- ・札幌市
- ・陸前高田市
- ・下川町
- ・積水ハウス
- ・大成建設
- ・7 & i・HD
- ・みずほ銀行
- ・日本コカ・コーラ
- ・NHK
- など

海外大学とのSDGs交流会



- ✓SDGsをテーマにした海外の大学生のオンライン交流会
- ✓日本（他大学の学生含む）、中国、韓国、ベトナムが参加
- ✓各国の文化や風習等の違いから見えてくるSDGs
- ✓「Think Globally、Act Locally」の理解

両大学連携企画



法政総長・関大学長によるSDGs対談

- ✓トップによるSDGs連携の展望
- ✓持続可能な社会に対して両大学が貢献できる役割



両大学のSDGs学生団体による連携

- ✓SDGsアクションのポスター共同作成
- ✓両大学キャンパス内の展示
- ✓大学生のSDGsアクションの啓発

SDGs合同学生団体「KLASH※」

- ✓高大連携ワークショップ
- ✓オンラインを活用
- ✓個人ができるSDGsアクションの検討

関西大学企画

企業／自治体セミナー

オンラインフィールドワーク

トークセッション

ワークショップ

ポスター展示

図書館イベント

プログラムの相互開放

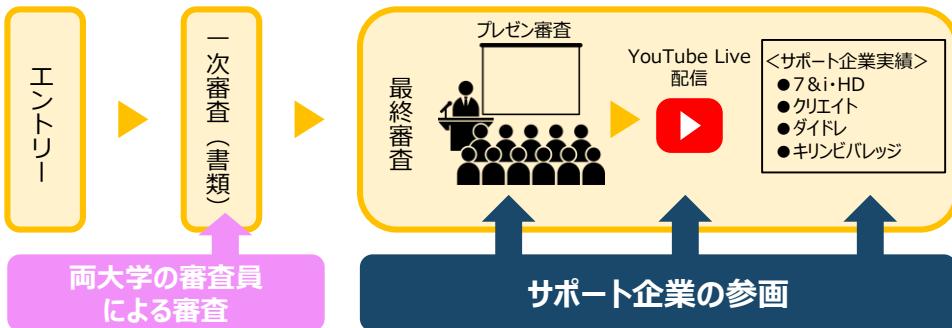
Goal 4: 学生×SDGs STUDENT ENGAGEMENT for SDGs

学生があらゆる場所で活躍できるフィールドを提供する



KANDAI×HOSEI SDGsアクションプランコンテスト

- ▶ 大学生がSDGs達成に向けた実践可能な行動計画「アクションプラン」を募集・表彰
- ▶ 関西大学との連携実施、大学間連携での学生活躍の場の創出
- ▶ 両大学の学生により構成された混成チームも参加
- ▶ サポート企業として複数の企業が参画



SASH (SDGs Action Students of HOSEI)

- ▶ SDGsに積極的に取り組む学部生・大学院生の登録・応援制度
- ▶ 情報交換の場や機会の提供
- ▶ SDGsに関する企画・実施の支援
- ▶ SDGsに関する取り組みの発信支援



SASHロゴマーク
(学生デザイン)



SASHによる自主SDGs企画例



高大連携企画



ディスカッションイベント

- <MEAT FREE MONDAY>
- ✓ 豚産業と環境の関係の講義
 - ✓ 個人ができるアクションについて
 - ✓ グループディスカッション
 - ✓ 検討したアクションの実践
 - ✓ 実践結果の共有

- ✓ 大学生が興味を持ちやすく、かつ身近な課題を取り上げたイベント
- ● ジェンダー後進国日本
 - ● ファッション×SDGs など
- ✓ 一方的な情報伝達ではなく、双方向のコミュニケーションを軸としたイベント



法政大学

2020年度実施



▶ エントリー件数は25件

- ◀ 入賞チーム／発表テーマ
 - RSチルドレン（法大）※最優秀賞
／ベトナムと日本の魔法の掛け算
 - 吉田ら（関大）※優秀賞
／文字から文字へのバトン
 - SANO PRA（法政）※優秀賞
／ベトナム介護人材向け日本語習得コースの開発と実践
 - Plastic For Future（関大）※サポート企業賞
／ペットボトルキャップの可能性～明日への未来予想図～



←法政会場

関西会場→

2021年度実施



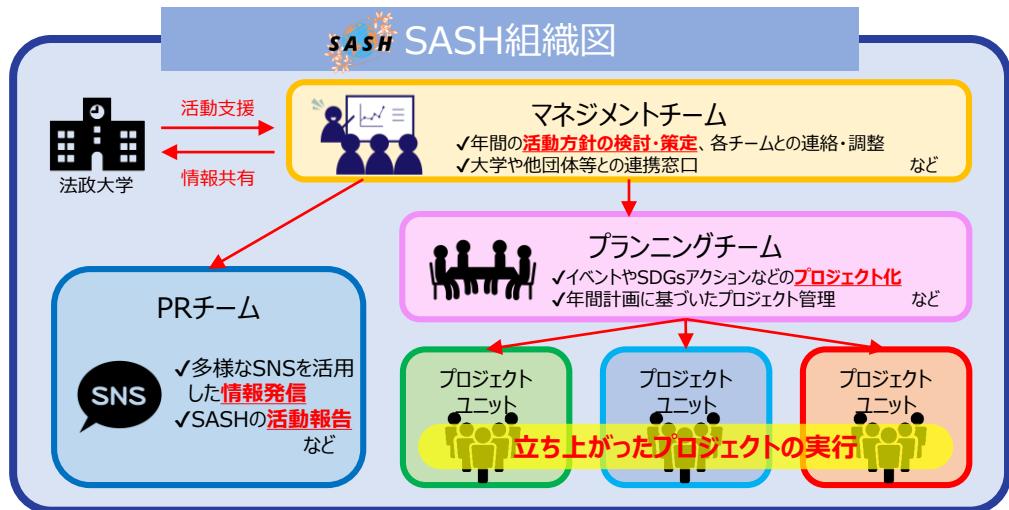
▶ エントリー件数は40件

- ◀ 入賞チーム／発表テーマ
 - 宇津見かゆ（関大）※最優秀賞、キリンビバレッジ（株）賞、オーディエンス賞
／ジンジャーかるたで楽しく学ぼう～ステレオタイプに縛られない自由な人生を～
 - Yasuku（関大）※優秀賞、（株）セブン＆アイ・ホールディングス賞
／Yasuku～小売店舗からなるフードロスを削減するアプリ～
 - Insect3（法大）※優秀賞
／異色のコラボ「メコン川流域国の昆虫食x日本の障害者就労」
 - Divers（法政・関大混成チーム）※クリエイト（株）・ダイレ（株）賞
／企業×商店街×保育園～街の人をつなげル～



2021年度は法政を会場として開催↑

SASH組織図



自由を生き抜く実践知 9

Goal 5:パートナーシップ×SDGs PARTNERSHIP for SDGs

あらゆる課題に対して、パートナーシップで目標を達成する体制を構築する



法政大学SDGsパートナーズ（HSP）

- ▶本学が目指す「**次世代のSDGs人材育成・輩出**」を実現するためのプラットフォームを形成
- ▶地方自治体や企業、NPO、他の教育機関など、**様々なパートナーと協力・連携**
- ▶大学↔パートナー間での連携だけではなく、**学生↔パートナー間の連携**も実現
- ▶それぞれが有する**様々なリソース等を活用**した連携プログラムの実施



<加盟パートナー>



日本最大級のSDGs総合プラットフォーム
ボランティア
プラットフォーム SDGs



KOTORA

ETHICAL
CHOICE



Liberty



自由を生き抜く実践知 10

